

相生山緑地オアシスの森くらぶ ニュースレター

41号

2011.5.28 発行

発行/相生山緑地オアシスの森くらぶ編集委員会 発行人/大館 学 編集長/近藤 真史

INDEX

【本号掲載分の活動】

1月22日(土) ... もりのフィールドサーキット「シイタケの菌打ち」 / 定例活動

2月26日(土) ... アカマツ林再生プロジェクト / 定例活動

3月26日(土) ... 竹林整備&竹柵改修 / 定例活動

4月23日(土) ... 2011年度総会 / 定例活動

このほかに竹炭焼きの報告もあります

1月定例活動

もりのフィールドサーキット 「シイタケの菌打ち」



1月22日(土)、今年も定番となった「シイタケの菌打ち作業」には、20家族43人も参加となり、大盛況。

相生口駐車場に集まった家族連れを率いて集いの広場へ誘導。森

くらぶの案内や本日の作業内容の説明をした後、シイタケのほだ木となるコナラの木を持ってウッドデッキのところに移動。



▲シイタケ菌打ち作業のようす

参加者が多いので、時間が気になり、さっそくドリルを使っての穴開けと駒菌の打ち込みを行う。ドリル作業は大人に任せ、小さな子供はゴムハンマーで駒菌の打ち込みを行う。毎年のことだが、子供はこの菌打ち作業が大好きである。ドリルで開けた穴を見つけては駒

菌を乗せ、ハンマーで打つ繰り返し。菌を打ったほだ木は、希望者は持ち帰りできるので人気があるようで、ほとんどの家族が持ち帰り。家庭でシイタケが出るまで面倒をみるのはなかなか難しいのだが、でも、満足そうな顔を見ていると、そんなことどうでもよくなる。こうした体験を通じて里山の楽しさを少しでも理解し、また来たいと思ってもらえれば。(大館)



▲シイタケ菌打ち作業のようす

4月定例活動

2011年度総会報告

大雨の予報が見事に的中し、総会のこの日ウッドデッキに集まったのは僅か9名。当初予定していた竹林整備や森の点検はあきらめ、参加メンバーで総会のみを午前中に行うことにしました。

最初はその場で始めてみたのですが、雨音で声も通らず、急きょ生涯学習センターのロビーに移動。そこでは2010年度年間活動と

会計の報告、2011年度の活動予定と予算の承認のほか、以下の内容が決まりました。

また、ウッドデッキが設置から3年経ち老朽化してしまったため、作り替えを今年度行うことになりました。(近藤)



▲最初はこんな感じで“雨中の”総会を始めようかとしたのですが...

主な決議内容

- 【役員】 ○会長/大館 学 ○副会長兼運営委員長/真弓 浩二
- 書記/近藤 真史 ○会計/村田 英二
- 会計監査/森 勝 ○運営副委員長/早川 正則《新任》
- 事務局/伊藤 晶子、中島 巳治男

【運営委員会開催日の変更】 毎月第2土曜日の午後1時30分からに統一。

【集合場所の変更】 定例活動は原則、ウッドデッキ(炭焼窯)に集合。

【年間活動予定】 最終ページのとおり。

2月定例活動

アカマツ林再生プロジェクト



まで持ち出す手間のかかる作業でしたが、もう少しで尾根全体の作業を完了できそうです。母樹となるアカマツも何とか持ちこたえ、元気な様子です。



▲海外からの参加者の皆さん



▲明るくなった尾根にはアカマツなどの実生木が再生

伊藤さんの通訳で、カナダの方に里山保全の必要性を説明すると、「山火事も自然環境に対して大変な悪影響を与えると考えがちだが、実は森の更新・再生にとって大切な事でもある」と、木を伐る里山保全の必要性も十分に理解されていたことが印象的でした。(眞弓)

ほかほか陽気のこの日は散策エリア尾根部で恒例の「アカマツ林再生」活動です。マツクイムシ被害で衰弱していたアカマツ林を再生しようと、2000年度から始まったこの活動も12年目となります。

明るくなった尾根では実生のアカマツがたくさん育ち、樹高1mを超えるものも見られます。陽性・乾燥・貧栄養の環境で元気に育つアカマツのために、被圧木を伐採し、林床の落ち葉をかき取り、斜面部

この日は、カナダ、イギリス、オーストラリアから伊藤さんの友人が参加され、国際的な保全活動となりました。



▲好奇心の旺盛な坊やも作業に参加



▲伐採材を使ってビートルアパートの改修も行われた

シリーズ『森の住人たち』⑳

～アワフキムシ（泡吹虫）～

－ホタルは泡から生まれる！？－

「ホタルはあの泡から生まれるのね」自然観察会の参加者のひとりが指差す方向を見ると、アカマツの新梢に泡状のものがついていた。

「ええっ～、本当？」別の参加者は半信半疑。

自然観察会では、その場でしかも自らの目で確認することができる。小枝でそっと泡をかき分けると、1cm程の昆虫が現われた。頭部、胸部の約3分の2が黒く、その下の腹部は橙色。もちろん参加者の常連さんのなかには、それが何であるかをすでに知っている人もいる。しかし、そこは初参加の人に譲歩し、私たち自然観察指導員と一緒に成り行きを見

守っている。

「ちょっと違うんじゃない」

「ホタルは頭の方が赤くて、後は全体的に黒いわよ」

初参加の何人かが、目前の対象物の感想をそれぞれ口にする。

実はこの泡状のものは、アワフキムシ科の「マツアワフキ」の幼虫が潜んでいる。幼虫は排泄物を泡立てた巣のなかで、アカマツの木の汁を吸って成長する。成虫は茶色っぽい体で、マツの根元などで見つかることが多い。泡状の白色は結構目につく上に、奇妙であるために関心を持つ人が多い。古くから、この泡のなかからホタルが生まれると信じられてきた。昆虫が黒っぽい体をしているためにホタルを連想させるよう

アワフキムシ アワフキムシ科
体長 10mm前後（幼虫の種類による）
分布 全国に分布



▲マツアワフキムシが潜む泡状の巣

だ。

このアワフキムシの泡は、地方によってはヘビのツバといわれている。また南フランスでは、この泡をカッコウ（野鳥）のツバであるといっている。その地域差がおもしろい。

※アワフキムシの種類は複数あり、ヨモギ、クワなどさまざまな植物で観察できる。

(文責 自然案内人 近藤 記巳子)

3月定例活動

竹林整備&竹柵改修



オアシスの森くらぶでは、例年3月の定例会を「萌木まつり」と銘打ち、会員相互の親睦をはかっています。

今年の「萌木まつり」は、東日本大震災のちょうど2週間後です。今回定例会は震災で被災された方々への追悼の意味もあり「まつり」を自粛して、竹林整備と山根口の竹柵改修の2班に分かれ活動を行

うことにしました。

竹林整備班は、午前中は山根口北の道路に面したエリアの整備です。常連のメンバーに加えて金森夫妻のお孫さん2人にも手伝ってもらいました。雑木に竹が進入してしてきた場所で、昨年手を入れた際には完全な除伐には至らず一部竹が残っていましたが、今回ほぼ竹を完伐することができました。

午後からは場所を変えてとんぼ池北斜面の竹の除伐をおこないました。

くらぶ創設以来何度も手を入れている場所ですが、手を抜くと途端に竹が進入してきます。個人的には中途半端に感じましたが、切りの良いところで作業を終えました。

作業後のすっきりした森を眺めると気分が晴れます。

* * *

一方、竹柵改修班は腕に心得のある熟練の皆さん4名で取り組み

ました。

ほんの少しの打ち合わせの後、あうんの呼吸で黙々と作業が進みました。皆さん各自の判断で動きながらも全体できれいにまとめ、時間内に見事な竹柵が完成しました。これで気持ちよく新年度が迎えられるそうです。



▲改修後、見事に生まれ変わった竹柵

今回定例会「まつり」は中止となりましたが、2班とも良い仕事が出来たと思います。

最後に今回の震災に遭われた方々に対して心からお見舞い申し上げます。(村田・眞弓)

この冬の竹炭焼き報告

昨年9月の定例会に除伐、準備しておいた竹材によいよ火を入れる日が来ました。

1月9日早朝7時集合。この時期としては比較的暖かく恵まれました。村田さんをリーダーに6名が参加。



▲窯の温度を一定に保つため、うちわを扇ぎ続ける

去年の小生、ただひたすらうちわを力任せにあおっていた記憶しかありません。知識も身につけたいと臨んだのですがトータルの印象はやっぱり温度の維持に精一杯でした。

まずは40度、その後は80度を超えるところまで数人でひたすら送風、交代を繰り返します。



▲日本酒で暖をとる参加者(決してこれが目的で参加するわけではありません、念のため)

この頃になると少し余裕、差し入れの日本酒で体内からの暖を取りながらの作業、これも楽しみ。

作業中、森を散策される方々も会話に加わり啓蒙の一端も果たしているのかと思います。

水蒸気を含んだ白色から送風を止める直前の透明な青っぽく変化

する煙の色、ここで酸素を遮断釜の中を想像しながら出来上がり待ちます。

後日、積み重ねた中段はまああの出来、最下段には生焼けもありました。次への反省材料です。



▲後日の窯出しのようす

その後、2月19日二度目の炭焼き、参加は8名、酒盛りはやはり盛況でした。(早川)

Schedule

【2011年度活動予定】

☆：定例活動 ★：特別活動

特記以外は 炭焼き広場 10:00集合

●：運営委員会 [第2土曜 午後13:30～ 相生小学校研修室]

★6月11日(土) トライアルサタデー [森の工作名人になろう①]
(天白生涯学習センターにて)

●6月11日(土) 運営委員会

★6月18日(土) トライアルサタデー [森の工作名人になろう②]
(天白生涯学習センターにて)

☆6月25日(土) トンボ池周辺整備&竹林整備

●7月9日(土) 運営委員会

☆7月23日(土) 案内板設置&小屋周り整備

●8月6日(土) 運営委員会

【注意!】

この回は第1土曜です。

☆8月27日(土) クラフト (相生小学校にて)

●9月10日(土) 運営委員会

☆9月24日(土) 柴刈り大会&いのちの谷整備

●10月8日(土) 運営委員会

★10月10日(月・祝) アサギマダラマーキング

☆10月22日(土) 第13回どんぐり祭り

★10月23日(日) 天百区民まつり参加 (天白公園にて)

★11月13日(日) 巣箱整備 (午前9:00 集いの広場集合)

●11月13日(日) 運営委員会

【注意!】

この回は第2日曜です。

☆11月26日(土) 竹林の整備&竹炭用材づくり

●12月10日(土) 運営委員会

☆12月24日(土) 正月準備&梅の剪定

2012年

●1月14日(土) 運営委員会

☆1月28日(土) ツツジの園再生&しいたけ駒菌打ち

●2月11日(土) 運営委員会

☆2月25日(土) アカマツ林再生プロジェクト

●3月10日(土) 運営委員会

☆3月24日(土) 第14回萌木祭り

Information

●●●● 会員募集中! ●●●●

このクラブは、相生山緑地オアシスの森を活動の場として、昆虫、鳥類を含めた、多様性のある森づくり、環境づくりなどのフィールドワークを行い、会員同士のふれあいや、オアシスの森を通じて地域の人との交流などを行う、楽しい集いです。

具体的な活動内容は

- ◆オアシスの森を訪れる人々に、自然観察の方法や楽しみ方を知ってもらえるよう案内する。
- ◆公園管理者と協力しながら、オアシスの森での植生管理作業を行う。
- ◆植物、野鳥や地形、地質、気象などの調査を行う。
- ◆柴刈り大会や自然観察会などのイベントを適宜行う。
- ◆その他、目的を達成するために必要な事業を行う。

○会費は年間1,500円(保険料含む)です。主に連絡、郵送費です。

○振り込み先(郵便局) オアシスの森くらぶ 00860-7-33725

【参加申込み・お問合せなど】

事務局

伊藤 晶子 052-895-8523

中島 己治男 052-803-9534

【Eメール】

Mail address :

aioiyama-moriclub@mail.goo.ne.jp

★参加申し込み・お問い合わせなどをメールでも受け付けています。

★会員の皆さんへ・・・活動に関する各種の情報を提供するため、メールアドレスをお持ちの方はお知らせ下さい。

【ホームページ】

URL address :

http://f44.aaa.livedoor.jp

/~oasis/index.html

★ニュースレターのカラー版(PDFファイル)がダウンロードできます。

★定例活動・特別活動の報告や予告などを随時更新しています。

ホームページ管理・作成スタッフを募集しています!

お手伝いいただける方、興味のある方、是非ご一報を!!